

令和4年度 経営健全化方針に基づく取組状況

1. 法人名

士別市農畜産物加工株式会社

2. 経営健全化方針を策定した理由

士別市農畜産物加工株式会社は、地場農産物の馬鈴薯を中心に付加価値を高め、農業者の所得向上を目指し、更には地元雇用の場を創出するため、平成7年に市の出資比率100%の第三セクターとして設立しました。

経営状況においては、平成22年度以降、累積債務状態が続いており、平成30年度では累積債務が4,667万円となる中、経営健全化を図るため、総務省通知に基づき、平成31年1月に「第三セクター等経営健全化方針」を策定しました。

3. 法人の財務状況

《貸借対照表から》

(単位:千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総資産額	91,819	101,173	90,890	79,783	45,800
内、現金預金	46,540	56,825	49,219	38,721	9,362
内、売上債権	23,853	23,407	22,283	20,793	11,707
内、棚卸資産	17,475	16,961	15,227	15,820	18,167
内、その他	0	0	670	0	1,377
内、固定資産	3,951	3,980	3,491	4,449	5,187
負債総額	128,459	128,298	117,067	117,453	117,570
純資産額	△36,640	△27,125	△26,177	△37,670	△71,770

1,000千円
第3者割当増資

《損益計算書から》

(単位:千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
経常収益	263,485	251,451	220,690	237,643	223,338
経常費用	263,375	241,856	219,662	249,899	257,232
経常損益	110	9,595	1,028	△12,256	△33,894
経常外損益	△80	△80	△80	△237	△206
当期純損益	30	9,515	948	△12,493	△34,100

4. 主な取組状況(令和4年度)

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- ・令和4年度から令和6年度までを期間する、経営健全化に向けた経営改善プランを新たに策定し、進捗管理を行った。
- ・収益性の改善を図るため、令和5年2月出荷分では23品目で平均18.0%、令和5年3月出荷分では3品目で平均17.7%における商品の価格改定を行った。
また、令和5年4月出荷分では6品目で平均20.0%の価格改正も行う。

【地方公共団体による財政的なリスクへの対処のための対応】

- ・令和4年7月と令和5年2月に、「士別市農畜産物加工株式会社経営検討委員会」を開催し、外部専門家を活用した進捗状況の分析、評価、検証を実施した。
- ・市の財政的リスクを軽減するため、協力会社の支援を得る中、資金繰りである短期貸付金を200万円減額した。